

推進方向 6

地域における各種スポーツ活動の 活発化と団体の育成

現状と課題

近年、自由時間を活用した精神的な豊かさを追求するライフスタイルへの意識が高まる一方、ストレスが増大し、体を動かす機会が減少するなど、心身両面の健康問題が顕在化しています。このような中、生涯にわたり健康で明るく、スポーツに親しむことができるライフスタイルを目指す市民が増加しており、健康づくりのための運動や身近なスポーツなど、今後ますます多様化する市民ニーズに対応したスポーツ環境の充実が求められています。

子どもの体力については、低下傾向に歯止めがかかり向上傾向が見られ始めていますが、運動習慣がある子どもとない子どもとに二極化する傾向が認められており、運動の習慣のない子どもたちに対する働きかけが重要と考えられます。

千歳市では多くのスポーツ推進委員やスポーツ指導員、スポーツ団体の指導者などが活躍していますが、活力あるスポーツ活動を進めるためには、さらなる指導者の確保が重要です。

また、スポーツ振興法が 50 年ぶりに全面改正され、平成 23 年 8 月 24 日に施行されたスポーツ基本法では、スポーツを「観る」、「する」、「支える」の三つの柱で捉え、国民一人ひとりの身近なところにスポーツが位置づけられる社会の実現が掲げられており、スポーツの力がますます必要とされています。

取組概要

市民がプロスポーツなどの競技を観る機会の拡充、スポーツをする機会の充実、スポーツを支える指導者の育成を図り、地域における生涯スポーツを推進するとともに、各種スポーツ活動の活発化と団体の育成に努めます。

推進方向 6 における取組方策と主要事業の体系

推進方向 6

地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成

【取組方策 6 - 1】生涯にわたるスポーツ活動の促進

＜主要事業＞ 「スポーツ普及推進事業」

【取組方策 6 - 2】スポーツイベント、スポーツ教室などの充実

＜主要事業＞ 「スポーツイベント開催事業」

【取組方策 6 - 3】スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成

＜主要事業＞ 「スポーツ指導者配置事業」

【取組方策 6 - 4】市民のスポーツ意識の啓発

＜主要事業＞ 「スポーツ表彰事業」

【取組方策 6 - 5】小中学校施設の地域開放

＜主要事業＞ 「学校体育施設開放事業」

【取組方策 6 - 1】

生涯にわたるスポーツ活動の促進

スポーツを通じて健康で心豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツの推進を目指し、健康づくりや体力増進に関する市民意識を啓発するとともに、スポーツに親しめる機会の充実を図ります。

(主要事業)：「スポーツ普及推進事業」

年齢や体力に応じた市民の生涯にわたるスポーツ活動を促進するため、「スポーツ普及推進事業」を推進します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
スポーツ施設利用者数	846,138 人	856,000 人	864,000 人	864,000 人

<前期計画期間の取組>

スポーツセンターリニューアル工事でのバリアフリー化や周回できるランニングコースの増設、トレーニング機器の充実など、多様化する市民ニーズを踏まえた施設の改修や設備の更新を計画的に実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
スポーツ施設利用者数	855 千人	833 千人	723 千人	784 千人

<後期計画における事業概要>

千歳市体育協会の事業を通して、スポーツの普及振興を図るとともに、スナッグゴルフなどのニュースポーツをはじめとする、生涯スポーツ活動に関する情報を発信し、市民のスポーツに対する意識啓発に努めます。



【取組方策 6 - 2】

スポーツイベント、スポーツ教室などの充実

市内のスポーツ関係団体と連携して各種スポーツイベント、スポーツ教室を開催するとともに、市民ニーズに対応した内容の充実を図ります。

(主要事業)：「スポーツイベント開催事業」

スポーツイベント、スポーツ教室などの充実に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
スポーツ事業の参加割合	89.1%	90%	91%	91%

<前期計画期間の取組>

屋外で行う各種教室や行事は、天候により参加者数の増減はありますが、募集段階では定員を超える申込みがあり、市民の運動することへの関心が高まっていると言えます。市民の健康推進と交流を積極的に進め、運動する機会を市民に提供しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
スポーツ事業の参加割合	87.9%	84.8%	85.5%	90.3%

<後期計画における事業概要>

千歳市体育協会等と連携し、千歳 J A L 国際マラソン、ちとせホルメンコーレンマーチ、千歳ジュニアスポーツフェスティバル等のスポーツイベントや各種スポーツ教室、講座などを実施します。



【取組方策 6 - 3】

スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成

市民が気軽にスポーツを楽しむことができるように、スポーツ推進委員やスポーツ指導員などを配置するとともに、各種スポーツ団体の育成に努めます。

(主要事業)：「スポーツ指導者配置事業」

ニュースポーツをはじめ、多様化する市民のスポーツ活動を支援する指導者や団体の育成・確保を図るため、「スポーツ指導者配置事業」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
イベントやスポーツ教室における スポーツ指導者の支援人数	1,077 人	1,200 人	1,250 人	1,250 人

<前期計画期間の取組>

指導者の育成と確保を図り、積極的に実技指導、スポーツ行事への協力を行っています。屋外で行うスポーツ教室行事では、天候によっては中止することもあり、支援者数の増減に影響がありますが、スポーツ指導者の配置により、市民や団体が行うスポーツやレクリエーション、ニュースポーツの実技指導、スポーツ事業の開催、スポーツ教室や行事への協力を積極的行いました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
イベントやスポーツ教室における スポーツ指導者の支援人数	1,141 人	1,649 人	1,427 人	1,721 人

<後期計画における事業概要>

引き続き、スポーツ推進委員及びスポーツ指導員を配置し、市民のスポーツ実技の指導、スポーツ行事の開催、スポーツ行事への協力を行うとともに、スポーツセンター及び総合武道館において、市民及び各種団体が行うスポーツやレクリエーションの指導や協力を行います。



【取組方策 6 - 4】

市民のスポーツ意識の啓発

スポーツの普及振興に寄与した個人・団体、スポーツ大会等で優秀な成績を収め市民に感銘を与えた個人・団体を表彰することにより、市民のスポーツ意識の啓発を図ります。また、スポーツに関する情報を広く提供するとともに、市内で開催されるプロスポーツ大会などを支援し、スポーツ観戦や一流選手との交流を進めるなど、スポーツ意識の啓発を図ります。

(主要事業)：「スポーツ表彰事業」

活力あるライフスタイルを築くため、「スポーツ表彰事業」などを実施し、市民のスポーツ意識の啓発を図ります。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
スポーツ表彰被表彰者数	3 名	4 名	4 名	4 名

<前期計画期間の取組>

スポーツの普及振興に寄与した個人・団体、スポーツ大会等で優秀な成績を収め、市民に感銘を与えた個人・団体の表彰を行い、市民のスポーツ意識の啓発を図りました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
スポーツ表彰被表彰者数	2 名	1 名	1 名	2 名

<後期計画における事業概要>

千歳市のスポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著な個人・団体には「スポーツ賞」を、また、世界大会、全国大会などで優秀な成績を収め、今後も意欲的な活動・活躍が期待される個人・団体には「スポーツ奨励賞」を贈呈し、市民のスポーツ意識の啓発に努めます。



【取組方策 6 - 5】

小中学校施設の地域開放

市民のスポーツ活動等の場をより多く提供するため、学校体育施設を開放するとともに、利用しやすい管理運営に努めます。

(主要事業)：「学校体育施設開放事業」

市内の小中学校施設を学校教育に配慮しながら、スポーツの普及のための地域開放施設として「学校体育施設開放事業」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
学校開放のスポーツ 利用回数	8,089 回	8,150 回	8,200 回	7,900 回

<前期計画期間の取組>

学校行事や選挙の投票会場等での使用の影響により、施設開放は減少傾向にありますが、スポーツ普及のため、市民のスポーツ活動等の場の提供に資する事業として、学校教育に支障のない範囲で事業を推進しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学校開放のスポーツ 利用回数	8,208 回	7,827 回	7,563 回	7,556 回

<後期計画における事業概要>

近年は、学校行事等で利用できないことが多くなっています。

引き続き、市民のスポーツ活動等の場の提供に資する事業として、学校教育に支障のない範囲で事業を推進していきますが、平成 32 年度の目標値は、現状を踏まえ 7,900 回に下方修正します。

